

# 那賀町内学校施設 耐震診断結果を公表します

平成20年6月に地震防災対策特別措置法が改正され、公立の幼稚園、小・中学校等の校舎等について、耐震診断を実施した建物ごとにその結果を公表することが義務付けられました。この度、町内すべて学校施設の診断結果がまとまりましたので、広報及び町ホームページ上にて公表いたします。町では今回の結果を受けて、危険度の高い建物より、順次耐震補強を進めて参りたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

学校名	棟別	建築年度	Is値	学校名	棟別	建築年度	Is値
鷺敷中学校	校舎	H11	新耐震基準適合	桜谷小学校	校舎	S50	Is 0.34
	体育館	H12			体育館	H3	新耐震基準適合
相生中学校	校舎	S41	Is 0.32	平谷小学校	校舎	S49	H20耐震改修完了
	武道館	S55	Is 0.78(耐震性有)		体育館	H4	新耐震基準適合
上那賀中学校	校舎	S47・54	Is 0.54	木沢小学校	校舎	S51	Is 0.34
木頭中学校	校舎	S46	Is 0.43		体育館	S55	Is 0.59
鷺敷小学校	校舎	S50・51	H16耐震改修完了	木頭小学校	校舎	S44	Is 0.26
	体育館	S52	Is 0.91(耐震性有)	北川小学校 (北川幼稚園)	校舎	S43	Is 0.57
相生小学校	校舎	H13	新耐震基準適合		体育館	S45	Is 0.43
	体育館	H11		あい幼稚園	園舎	H13	新耐震基準適合
				延野幼稚園	園舎	H4	新耐震基準適合

## ● Is値について

建物の構造的な耐震性能はIs値（構造耐震指標）という指標で示されます。  
Is値が大きいほど耐震性能が高い施設です。

### Is値の目安

0.3未満	大規模な地震(震度6強以上)に対して、倒壊または崩壊する危険性が高い
0.3以上~0.6未満	大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある。
0.6以上	大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い。

文部科学省では、補強後のIs値は0.7を超えることとしています。

## ● 建築基準法による耐震基準

**新耐震基準** 昭和56年6月1日以降に施行された耐震基準による建物  
**旧耐震基準** 昭和56年6月1日の耐震基準の見直し以前に用いられた耐震基準による建物



昭和56年に建築基準法が大幅に改正されました。それ以前の基準で建てられていた建物は、新基準の建物に比べ耐震性能が十分ではないことがあり阪神・淡路大震災でも大きな被害を受けた例が多数有りました。今回は旧耐震基準（昭和56年以前）の学校施設を対象に耐震診断を行いました。